

第 3 部 検査

D004-2 悪性腫瘍組織検査

現 行	改 正
<p>1 悪性腫瘍遺伝子検査</p> <p>イ E G F R 遺伝子検査（リアルタイム P C R 法） 2,500 点</p> <p>ロ E G F R 遺伝子検査（リアルタイム P C R 法以外） 2,100 点</p> <p>ハ K-ras 遺伝子検査 2,100 点</p> <p>ニ EWS-Fli1 遺伝子検査 2,100 点</p> <p>ホ T L S-C H O P 遺伝子検査 2,100 点</p> <p>ヘ S Y T-S S X 遺伝子検査 2,100 点</p> <p>ト c-kit 遺伝子検査 2,500 点</p> <p>チ マイクロサテライト不安定性検査 2,100 点</p> <p>リ センチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査 2,100 点</p> <p>ヌ B R A F 遺伝子検査 6,520 点</p> <p>ル R A S 遺伝子検査 2,500 点</p> <p>ヲ R O S 1 融合遺伝子検査 2,500 点</p> <p>注 患者から 1 回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して悪性腫瘍遺伝子検査を実施した場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。</p> <p>イ 2 項目 4,000 点</p> <p>ロ 3 項目以上 6,000 点</p> <p>2 抗悪性腫瘍剤感受性検査 2,500 点</p>	<p>1 悪性腫瘍遺伝子検査</p> <p>イ 処理が容易なもの (1) 医薬品の適応判定の補助等に用いるもの 2,500 点 (2) その他のもの 2,100 点</p> <p>ロ 処理が複雑なもの 5,000 点</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> <p>注 1 患者から 1 回に採取した組織等を用いて同一がん種に対してイに掲げる検査を実施した場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。</p> <p>イ 2 項目 4,000 点</p> <p>ロ 3 項目 6,000 点</p> <p>ハ 4 項目以上 8,000 点</p> <p>2 患者から 1 回に採取した組織等を用いて同一がん種に対してロに掲げる検査を実施した場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。</p> <p>イ 2 項目 8,000 点</p> <p>ロ 3 項目以上 12,000 点</p> <p>2 抗悪性腫瘍剤感受性検査 2,500 点</p>

◆イ 処理が容易なもの

160220610	E G F R 遺伝子検査（肺癌）	2,500 点
160220710	R O S 1 融合遺伝子検査（肺癌）	2,500 点
160220810	A L K 融合遺伝子検査（肺癌）	2,500 点
160220910	R A S 遺伝子検査（大腸癌）	2,500 点
160221010	B R A F 遺伝子検査（大腸癌）	2,500 点
160221110	H E R 2 遺伝子検査（乳癌）	2,500 点
160221210	マイクロサテライト不安定性検査（標準的な治療が困難な固形癌）	2,500 点
160221310	K-ras 遺伝子検査（肺癌）	2,100 点
160221410	K-ras 遺伝子検査（膵癌）	2,100 点
160221510	EWS-Fli1 遺伝子検査（悪性骨軟部組織腫瘍）	2,100 点

160221610	T L S－C H O P 遺伝子検査（悪性骨軟部組織腫瘍）	2,100 点
160221710	S Y T－S S X 遺伝子検査（悪性骨軟部組織腫瘍）	2,100 点
160221810	c－k i t 遺伝子検査（消化管間葉系腫瘍）	2,100 点
160221910	センチネルリンパ節生検に係る遺伝子検査（悪性黒色腫）	2,100 点
160222010	E G F R 遺伝子検査（大腸癌）	2,100 点
160222110	K－r a s 遺伝子検査（大腸癌）	2,100 点
160222210	マイクロサテライト不安定性検査（リンチ症候群の診断の補助）	2,100 点
160222910	E G F R 遺伝子検査（肺癌）（その他の方法）	2,100 点
160223010	R A S 遺伝子検査（大腸癌）（その他の方法）	2,100 点
160223110	B R A F 遺伝子検査（悪性黒色腫）（その他の方法）	2,100 点

◆ロ 処理が複雑なもの

160222310	B R A F 遺伝子検査（肺癌）	5,000 点
160222410	B R A F 遺伝子検査（リアルタイムPCR法）（悪性黒色腫）	5,000 点
160222510	N T R K 融合遺伝子検査（固形癌）	5,000 点

◆包括項目数算定（まるめ）について

[算定方法]

①入力された検査の項目数により包括点数を算定します。

イ 処理が容易なもの

2 項目 4,000 点

3 項目 6,000 点

4 項目以上 8,000 点

ロ 処理が複雑なもの

2 項目 8,000 点

3 項目以上 12,000 点

D 0 0 6－3 M a j o r B C R－A B L 1（mRNA 定量（国際標準値））

現 行	改 正
1 mRNA 定量（国際標準値） イ 診断の補助に用いるもの 2,520 点 ロ モニタリングに用いるもの 2,520 点	1 診断の補助に用いるもの 2,520 点 （削除） （削除）
2 mRNA 定量（1 以外のもの） 1,200 点	2 モニタリングに用いるもの 2,520 点

D 0 0 6－4 遺伝学的検査

160222610	遺伝学的検査（容易）（（1）のオに掲げる遺伝子疾患）	3,880 点
160222710	遺伝学的検査（複雑）（（1）のオに掲げる遺伝子疾患）	5,000 点
160222810	遺伝学的検査（極複雑）（（1）のオに掲げる遺伝子疾患）	8,000 点

◆遺伝学的検査【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3477

遺伝学的検査

D 0 0 6－1 2 E G F R 遺伝子検査（血漿）

現 行	改 正
（新設）	注 同一の患者につき同一月において検査を2回以上実施した場合における2回目以降の当該検査の

費用は、所定点数の 100 分の 90 に相当する点数により算定する。

◆検査通減

[算定方法]

- ①同一月 2 回目以降は減算コードを自動発生します。

D006-14 FLT3 遺伝子検査【新設】【平成 30 年 12 月】

改正
FLT3 遺伝子検査 4,200 点

D006-15 膀胱がん関連遺伝子検査【新設】【平成 31 年 1 月】

改正
膀胱がん関連遺伝子検査 1,597 点

D006-16 JAK2 遺伝子検査【新設】【令和 2 年 1 月】

改正
JAK2 遺伝子検査 2,504 点

D006-17 Nudix hydrolase 15 (NUDT15) 遺伝子多型【新設】【平成 31 年 2 月】

改正
Nudix hydrolase 15 (NUDT15) 遺伝子多型 2,100 点

D006-18 BRCA1/2 遺伝子検査【新設】【届出】

改正
1 腫瘍細胞を検体とするもの 20,200 点 2 血液を検体とするもの 20,200 点 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において実施した場合に限り算定する。

160217110	BRCA1/2 遺伝子検査（腫瘍細胞）	20,200 点
160217210	BRCA1/2 遺伝子検査（血液）	20,200 点

◆BRCA1/2 遺伝子検査（腫瘍細胞）【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3693	BRCA1/2 遺伝子検査（腫瘍細胞）
------	---------------------

◆BRCA1/2 遺伝子検査（血液）【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3745	BRCA1/2 遺伝子検査（血液）
------	-------------------

D006-19 がんゲノムプロファイリング検査【新設】【届出】【令和元年 6 月】

改正
1 検体提出時 8,000 点 2 結果説明時 48,000 点 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関

において実施した場合に限り算定する。

◆がんゲノムプロファイリング検査【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3694	がんゲノムプロファイリング検査
------	-----------------

D006-20 角膜ジストロフィー遺伝子検査【新設】【届出】

改 正	
角膜ジストロフィー遺伝子検査 1,200 点	
注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に、患者 1 人につき 1 回に限り算定する。	

160217310	角膜ジストロフィー遺伝子検査	1,200 点
-----------	----------------	---------

◆角膜ジストロフィー遺伝子検査【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3695	角膜ジストロフィー遺伝子検査
------	----------------

D006-21 血液粘弾性検査（一連につき）【新設】

改 正	
血液粘弾性検査（一連につき） 600 点	

160217410	血液粘弾性検査	600 点
-----------	---------	-------

D009 腫瘍マーカー

現 行	改 正
注 2 患者から 1 回に採取した血液等を用いて本区分の 2 から 30 までに掲げる検査を 2 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 イ 2 項目 230 点 ロ 3 項目 290 点 ハ 4 項目以上 420 点	注 2 患者から 1 回に採取した血液等を用いて本区分の 2 から 29 までに掲げる検査を 2 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 イ 2 項目 230 点 ロ 3 項目 290 点 ハ 4 項目以上 408 点

D010 特殊分析

現 行	改 正
8 先天性代謝異常症検査 1,176 点 （新設） （新設） （新設） （新設） 注 保険医療機関内において、当該検査を行った場合に患者 1 人につき月 1 回に限り算定する。	8 先天性代謝異常症検査 イ 尿中有機酸分析 1,141 点 ロ 血中極長鎖脂肪酸 1,141 点 ハ タンデムマス分析 1,141 点 ニ その他 1,141 点 注 1 イ、ロ及びハについては、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に、患者 1 人につき月 1 回に限り算定する。

	2 ニについては、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、当該保険医療機関内で検査を行った場合に、患者 1 人につき月 1 回に限り算定する。
--	--

160217510	先天性代謝異常症検査（尿中有機酸分析）	1,141 点
160217610	先天性代謝異常症検査（血中極長鎖脂肪酸）	1,141 点
160217710	先天性代謝異常症検査（タンデムマス分析）	1,141 点
160217810	先天性代謝異常症検査（その他）	1,141 点

◆先天性代謝異常症検査【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3696	先天性代謝異常症検査
------	------------

D O 1 3 肝炎ウイルス関連検査

現 行	改 正
注 患者から 1 回に採取した血液を用いて本区分の 3 から 14 までに掲げる検査を 3 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 イ 3 項目 290 点 ロ 4 項目 360 点 ハ 5 項目以上 447 点	注 患者から 1 回に採取した血液を用いて本区分の 3 から 14 までに掲げる検査を 3 項目以上行った場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する。 イ 3 項目 290 点 ロ 4 項目 360 点 ハ 5 項目以上 438 点

D O 1 9 細菌薬剤感受性検査

現 行	改 正
(新設)	4 薬剤耐性菌検出 50 点
(新設)	5 抗菌薬併用効果スクリーニング 150 点

160217910	薬剤耐性菌検出	50 点
160218010	抗菌薬併用効果スクリーニング	150 点

D O 2 3 微生物核酸同定・定量検査

18 細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出

160216850	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	1,700 点
-----------	------------------	---------

◆ウイルス・細菌核酸多項目同時検出【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3697	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
------	------------------

D O 2 6 検体検査判断料

現 行	改 正
(新設) 注 1 検体検査判断料は該当する検体検査の種類又は回数にかかわらずそれぞれ月 1 回に限り算定	2 遺伝子関連・染色体検査判断料 100 点 注 1 検体検査判断料は該当する検体検査の種類又は回数にかかわらずそれぞれ月 1 回に限り算定

<p>できるものとする。ただし、区分番号D027に掲げる基本的検体検査判断料を算定する患者については、尿・糞便等検査判断料、血液学的検査判断料、生化学的検査(I)判断料、免疫学的検査判断料及び微生物学的検査判断料は別に算定しない。</p> <p style="text-align: right;">(新設)</p> <p>5 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、区分番号D006-4に掲げる遺伝学的検査を実施し、その結果について患者又はその家族に対し遺伝カウンセリングを行った場合には、遺伝カウンセリング加算として、患者1人につき月1回に限り、1,000点を所定点数に加算する。</p> <p style="text-align: right;">(新設)</p>	<p>できるものとする。ただし、区分番号D027に掲げる基本的検体検査判断料を算定する患者については、尿・糞便等検査判断料、遺伝子関連・染色体検査判断料、血液学的検査判断料、生化学的検査(I)判断料、免疫学的検査判断料及び微生物学的検査判断料は別に算定しない。</p> <p>3 区分番号D004-2の1、区分番号D006-2からD006-9まで及び区分番号D006-11からD006-20までに掲げる検査は、遺伝子関連・染色体検査判断料により算定するものとし、尿・糞便等検査判断料又は血液学的検査判断料は算定しない。</p> <p>6 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、区分番号D006-4に掲げる遺伝学的検査、区分番号D006-20に掲げる角膜ジストロフィー遺伝子検査又は遺伝性腫瘍に関する検査(区分番号D006-19に掲げるがんゲノムプロファイリング検査を除く。)を実施し、その結果について患者又はその家族等に対し遺伝カウンセリングを行った場合には、遺伝カウンセリング加算として、患者1人につき月1回に限り、1,000点を所定点数に加算する。</p> <p>7 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、区分番号D006-19に掲げるがんゲノムプロファイリング検査を実施し、その結果について患者又はその家族等に対し遺伝カウンセリングを行った場合には、遺伝性腫瘍カウンセリング加算として、患者1人につき月1回に限り、1,000点を所定点数に加算する。</p>
--	---

160218110	遺伝子関連・染色体検査判断料	100 点
160218270	遺伝性腫瘍カウンセリング加算	1,000 点

◆遺伝性腫瘍カウンセリング加算【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3698	遺伝性腫瘍カウンセリング加算
------	----------------

D215 超音波検査（記録に要する費用を含む。）

現 行	改 正
<p>2 断層撮影法（心臓超音波検査を除く。）</p> <p>イ 胸腹部 530 点</p>	<p>2 断層撮影法（心臓超音波検査を除く。）</p> <p>イ 訪問診療時に行った場合 400 点</p> <p>注 訪問診療時に行った場合は、月1回に限り算定する。</p> <p>ロ その他の場合</p> <p>(1) 胸腹部 530 点</p>

ロ 下肢血管 450 点 ハ その他（頭頸部、四肢、体表、末梢血管等） 350 点	(2) 下肢血管 450 点 (3) その他（頭頸部、四肢、体表、末梢血管等） 350 点
---	---

160218310	超音波検査（断層撮影法）（訪問診療）	400 点
-----------	--------------------	-------

D 2 3 1 - 2 皮下連続式グルコース測定（一連につき）

160186910	皮下連続式グルコース測定（診療所）	700 点
160213210	皮下連続式グルコース測定（病院）	700 点

◆皮下連続式グルコース測定【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3476	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
------	-------------------------

D 2 3 6 - 3 脳磁図

現 行	改 正
脳磁図 5,100 点 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。	1 自発活動を測定するもの 17,100 点 2 その他のもの 5,100 点 注 1 1については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、てんかんの診断を目的として行われる場合に限り算定する。 2 2については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

160218410	脳磁図（自発活動を測定）	17,100 点
-----------	--------------	----------

◆脳磁図（自発活動を測定）【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3699	脳磁図（自発活動を測定）
------	--------------

D 2 3 7 終夜睡眠ポリグラフィー

現 行	改 正
3 1 及び 2 以外の場合 3,960 点 (新設) (新設) (新設)	3 1 及び 2 以外の場合 イ 安全精度管理下で行うもの 4,760 点 ロ その他のもの 3,570 点 注 3のイについては、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

160218510	終夜睡眠ポリグラフィー（1 及び 2 以外）（安全精度管理下）	4,760 点
160218610	終夜睡眠ポリグラフィー（1 及び 2 以外）（その他）	3,570 点

◆終夜睡眠ポリグラフィー（１及び２以外）（安全精度管理下）【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3700	終夜睡眠ポリグラフィー（１及び２以外）（安全精度管理下）
------	------------------------------

D 2 3 9 筋電図検査

現 行	改 正
1 筋電図（１肢につき（針電極にあつては１筋につき）） 300 点 (新設) (新設)	1 筋電図（１肢につき（針電極にあつては１筋につき）） 320 点 4 単線維筋電図（一連につき） 1,500 点 注 3 4 については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

160218710	単線維筋電図	1,500 点
-----------	--------	---------

◆単線維筋電図【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3701	単線維筋電図
------	--------

D 2 5 8－3 黄斑局所網膜電図、全視野精密網膜電図【新設】【届出】

改 正
黄斑局所網膜電図、全視野精密網膜電図 800 点 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。

160218810	黄斑局所網膜電図	800 点
160218910	全視野精密網膜電図	800 点

◆黄斑局所網膜電図【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3702	黄斑局所網膜電図
------	----------

◆全視野精密網膜電図【要届出】

[算定方法]

- ①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3703	全視野精密網膜電図
------	-----------

D 2 6 1 屈折検査

現 行	改 正
(新設)	注 1 について、弱視又は不同視と診断された患者に対して、眼鏡処方箋の交付を行わずに矯正視力検査を実施した場合には、小児矯正視力検査加算として、35 点を所定点数に加算する。この場合において、区分番号 D 2 6 3 に掲げる矯正視力検査は算定し

	ない。
--	-----

160219070	小児矯正視力検査加算	35 点
160223170	小児矯正視力検査加算（薬剤使用前後）	70 点

D 2 8 5 認知機能検査その他の心理検査

現 行	改 正
1 操作が容易なもの 80 点 (新設) (新設)	1 操作が容易なもの イ 簡易なもの 80 点 ロ その他のもの 80 点

160219110	認知機能検査その他の心理検査（操作が容易）（簡易）	80 点
-----------	---------------------------	------

D 3 1 0 小腸内視鏡検査

現 行	改 正
1 ダブルバルーン内視鏡によるもの 7,800 点 2 シングルバルーン内視鏡によるもの 5,000 点	1 バルーン内視鏡によるもの 6,800 点 (削除)

160219210	小腸内視鏡検査（バルーン内視鏡）	6,800 点
-----------	------------------	---------

D 3 1 2-2 回腸囊ファイバースコピー【新設】

改 正
回腸囊ファイバースコピー 550 点

160219310	E F-回腸囊	550 点
-----------	---------	-------

D 4 1 2-2 経皮的腎生検法【新設】

改 正
経皮的腎生検法 2,000 点

160219410	経皮的腎生検法	2,000 点
-----------	---------	---------

D 4 1 5 経気管肺生検法

現 行	改 正
(新設)	注3 プローブ型顕微内視鏡を用いて行った場合は、顕微内視鏡加算として、1,500 点を所定点数に加算する。ただし、注1に規定するガイドシース加算は別に算定できない。

160219570	顕微内視鏡加算	1,500 点
-----------	---------	---------

◆顕微内視鏡加算【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3063	C T 透視下気管支鏡検査加算
------	-----------------

D 4 1 5-4 経気管肺生検法（仮想気管支鏡を用いた場合）【新設】

改 正

経気管肺生検法（仮想気管支鏡を用いた場合） 5,000 点

160219610	経気管肺生検法（仮想気管支鏡）	5,000 点
-----------	-----------------	---------

D 4 1 5 - 5 経気管支凍結生検法【新設】【届出】

改 正		
経気管支凍結生検法 5,500 点 注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において行われる場合に限り算定する。		

160219710	経気管支凍結生検法	5,500 点
-----------	-----------	---------

◆経気管支凍結生検法【要届出】

[算定方法]

①システム管理の「1006 施設基準情報」から施設基準を設定します。

3704	経気管支凍結生検法
------	-----------

D 4 1 9 その他の検体採取

現 行	改 正
2 胸水・腹水採取（簡単な液検査を含む。） 180 点 （新設）	2 胸水・腹水採取（簡単な液検査を含む。） 180 点 注 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、乳幼児加算として、40 点を所定点数に加算する。
3 動脈血採取（1 日につき） 50 点 注 血液回路から採血した場合は算定しない。 （新設）	3 動脈血採取（1 日につき） 50 点 注 1 血液回路から採血した場合は算定しない。 2 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、乳幼児加算として、15 点を所定点数に加算する。
4 前房水採取 420 点 （新設）	4 前房水採取 420 点 注 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、乳幼児加算として、90 点を所定点数に加算する。
5 副腎静脈サンプリング（一連につき） 4,800 点 （新設）	5 副腎静脈サンプリング（一連につき） 4,800 点 注 3 6歳未満の乳幼児に対して行った場合は、乳幼児加算として、1,000 点を所定点数に加算する。

160219870	乳幼児加算（胸水・腹水採取）	40 点
160220070	乳幼児加算（B - A）	15 点
160220170	乳幼児加算（前房水採取）	90 点
160220270	乳幼児加算（副腎静脈サンプリング）	1,000 点

◆乳幼児加算

[算定方法]

①年齢により加算コードを自動発生します。